

新年のご挨拶

V・G 槻輪会長

新春おめでとう御座います。昨年、皆様のご協力を得て設立一周年記念講演会も盛大に開催出来ました。

本当に有難う御座いました。今年、V G 槻輪も設立して二年目になり、つたえ歩きから、よちよち歩きをしたいと努力してまいりますので、皆様には相変わりにませずのご支援とご指導をお願いいたします。

今年度（平成18年）の活動方針については、会員の意見を聞いています。ところですが、昨年作成しました中期活動計画を一部見直し、新たな中期計画を設定したいと思います。

左記の事項は、検討課題ではないかと思っております。

- 1、指定管理者制度に取り組みには、法人化（NPO）も検討する。
- 2、わがまち紹介を高く

槻市以外に広げる。（ま

ず茨木・三島郡に広げる）

3、シニアの生きがい（活力を生かす）の具体化

4、リサイクルショップの具体化。

たかつき春・夏・秋の市は出店します。

5、環境保全・改善の活動の具体的展開。

6、安全・福祉に関する活動の具体化。

これらの活動を幅広く展開していくためには、分科会にて推進計画を立て活性化する必要がありますと考えています。無理をせず、一歩一歩進みましよう。 S・O

会員便り

心の開拓は自分に希望を持つことから！

自分の住んでいる地域を良好で美しく、安全な町にしようとする思いを80%近くの方がもっていると思えます。

しかし、町を汚くしても、他人が掃除をすればよいのだ、河川にゴミを捨てたり、犬の糞を放置しても雨が降ればきれいになるのだ、と平気な人が五人に一人位の割合

で知られるようです。さらにご都合主義といふべきか、「他人が見ていなくても捨てる」という方がかなりおられます。道路に空き缶が捨てられても拾ってゴミ箱まで持って行く方は果たしてどれだけおられるでしょうか？

四季彩 シクラメン

「花言葉」：内気なはにかみ、理解
 「和名」：カガリビバナ、ブタの饅頭
 「科名」：サクランソウ科
 「性状」：多年草（球根性）
 「原産地」：中近東、東地中海地方

原産のシクラメンはパレスチナに自生し花の香りがあるが、品種改良して現在売られているシクラメンには、香りはありません。



品種改良で大輪の花を咲かせるようになったが、残念ながら香りを無くした。冬から春にかけて花屋の店先で、重要な鉢植えの花となってきました。葉一枚に花芽が一つ、葉がまばらなものは花も沢山咲きません。鉢植えを買うときは葉がビッチリ詰まっている鉢を選んで買うのがコツ。鳥海昭子の歌に「迷わずに 真紅をえらぶシクラメン 師走の今日の充実として」 T・N

一日に何万人も通る道路にたった一個の空き缶が一週間も同じ場所に転がっているのが日本の都市の現状です。

「ゴミを捨てるな！町を美しくしましょう」というかけ声は大きいですが、「行動する人、ゴミを拾う人」は少ないのです。

高槻市の女瀬川の堤防の隅にアルミ缶回収用の手製の木箱を設置したところハンマーで破壊されたり、あげくの果ては「早く回収箱を撤去しなければ殺してやる」との脅迫電話があり、ボランティアも命がけです。電話をしてきた方はアルミ缶回収の仕事とは全然関係のない方でした。

しかし、私は『真、善、美』に繋がるものは必ず実現するという「自分に希望を持ち」今年もグループでがんばっていくつもりです。 Y・J

「子育てに於ける父親の役割と意味」

「子育ては夫婦で行う事」は私も大賛成。然し、その中味を考えて欲しい。男性が赤ん坊のおしめを替え離乳食を与え、成長の過程で幼稚園や学校の諸行事に参加し、集団の中の我が子を観察するのは大いに結構。でもそれだけで良いのだろうか。

子育てに一番大切な時期は、思春期を迎えやがて社会人になる段階で父親が本当に心から子供に

関わって行く事です。父親は自身が得た、または現在得ている状態を子供にしっかりと伝える。社会に巣立つ意味、労働の重要さを語り、子供に自信を持たせる必要が父親の責務である。子供を守る事と、甘えさせるの意味は、異なる。しっかりと守り、然し決して甘やかさない。

引きこもり族とか、ニート族とか、世間で言われているが、今学校で職場を体験させている所もある様だが、学校は知識を与える場。家庭は生きて行く為の常識を与える場。現時点ではすべて学校に依存し、子供を任せ、守るべき親が責任を転嫁している事を憂慮する。 N・Y

一年間の皆様の努力の結果、仲間が増えました。人の和（輪）が大きくなれば成る程、知力・気力・労力等が増大し、より大きな活動が出来るようになることを期待しています。生きがい作りの一環としても、愈々今年、具体的な活動を進めていきたいと思えます。 S・N

甘辛チャンネル

「子育ては夫婦で行う事」は私も大賛成。然し、その中味を考えて欲しい。男性が赤ん坊のおしめを替え離乳食を与え、成長の過程で幼稚園や学校の諸行事に参加し、集団の中の我が子を観察するのは大いに結構。でもそれだけで良いのだろうか。

編集後記

一年間の皆様の努力の結果、仲間が増えました。人の和（輪）が大きくなれば成る程、知力・気力・労力等が増大し、より大きな活動が出来るようになることを期待しています。生きがい作りの一環としても、愈々今年、具体的な活動を進めていきたいと思えます。 S・N